

こんぺいとう通信



教室のみなさん、こんにちは (^o^)
無事に5月号を発行することができました！あれだけ宣言しておいて出さなかったら、センセーの信用がガタ落ちになるところでしたね（笑）。ホッとしています。（え？別に期待してなかった？💧）

さて、4月15日のブログで「教室のプリンターを新調した」お話を載せましたが、ご覧いただけましたでしょうか。まだの方はぜひ覗いてみてください。あの一件、表面上はさらっと書きましたが、舞台裏ではちょっとした事件が起きていたんです。

今回の機種選定にあたり、試しに相棒の「とらん君（AI）」に条件を指定して選んでもらったのですが、これが驚くほど間違いだらけ。僕は「A4用紙は前面トレイに、ハガキなどは背面から」と給紙方法を細かく指定したのですが、彼は自信たっぷりに「この機種はその条件をすべて満たしています！」と断言して、あるモデルを勧めてきました。ところがメーカーサイトで調べてみると、なんと前面トレイが一切ないモデルだったんです。一番使うA4用紙をドサッとセットしておきたいのに、背面からしか給紙できないのでは場所も取るし、紙も反ってしまいます。教室の運用を考えれば前面トレイは必須なのですが、彼はそんな事情はお構いなし。もし内容を鵜呑みにして、4万円もの大金を払って注文していたら…と思うと、今でもゾッとします。

こうしたAIがつくもっともらしい嘘を「ハルシネーション（幻覚）」と言います。AIは「正しいこと」ではなく「続きとしてもっともらしい文章」を作る仕組みなので、これは構造上仕方のないことなのです…と、なんとAI自身が涼しい顔でそう解説してくれ

ました（笑）。結局、生成AIは「断言する先生」としてではなく、「優秀だけど時々勘違いするアシスタント」として使うのが一番のようです。9割正しくても、残りの1割が正しいとは限らない。だからこそ、最終的には人間がしっかり「裏取り」をしなければいけないんですね……と、これまた人ごとの

ようにAIはのたまいます。これ、人間だったら「お前が言うなっ（怒）」とツッコミを入れたくなるところで



すよね。自分が間違えておいて「間違いにはこういう理由があるから、人間が気をつけなさい（エッヘン）」なんて、普通なら恥ずかしくて言えませんが、それを恥ずかしげもなく言うしまうのが、さすがAI様（笑）。そんな「優秀だけど、どこか抜けている」AIと上手に付き合うための教訓になった、5月の朝でした。

「修了証をリニューアルして再開します」

しばらくの間お休みしていた「修了証」の発行を、デザインを一新して再開することにいたしました。新しい用紙は、パソコン教室らしくキーボードをあしらったものを選んでいきます。一冊のテキストを終えた区切りとして、これからの学習の励みにしていただければ幸いです。

【これまでにお渡しできなかった方へ】

ここ数年の間にお渡しできなかった皆様、大変失礼いたしました。もし「以前終わらせた分の証書も欲しい」という方がいらっしゃいましたら、喜んで作成させていただきます。

過去の分についても、遠慮なく「私の分も作って」と気軽にお声がけくださいね。